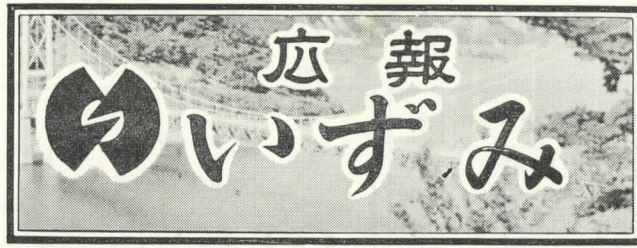


1975 (毎月1回行)

5月号

(村の面積)
332,60 km²

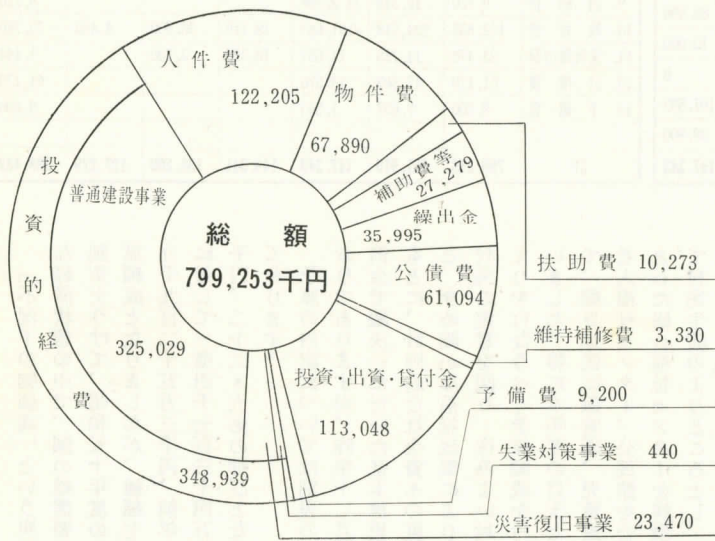
発行所 福井県大野郡和泉村



(昭和50年4月1日現在)

村の人口
 総人口 2,146人
 男 1,057人
 女 989人
 出生 3人
 死亡 2人
 転入 14人
 転出 71人
 世帯数 580世帯

性質別歳出予算



財政事情の公表

和泉村財政事情の作成及び公表に関する条例の定めるところにより村の財政事情を公表します。

今回は昭和五十年年度予算と昭和四十九年度下半期の財政運営状況について、そのあらましを説明します。

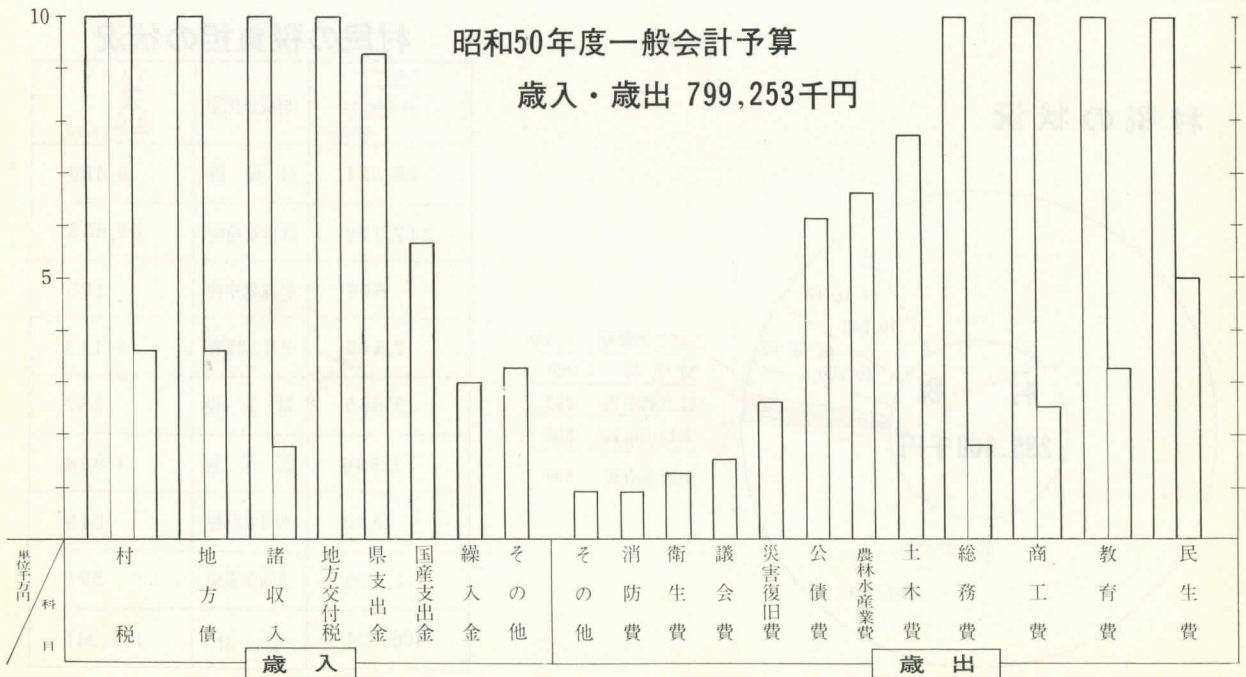
この財政事情は村民の皆さんに村財政の現況をお知らせし、その実態と村政の動きを充分認識いただくものであります。

今後とも村勢発展のため一層のご協力をお願いします。

昭和五十年五月一日

和泉村長 山本清孝

昭和50年度一般会計予算
 歳入・歳出 799,253千円



昭和50年度和泉村一般会計予算

歳 入

款	本年度予算額	前年度予算額	比 較
1. 村 税	235,668	221,274	14,394
2. 地 方 譲 与 税	2,400	1,400	1,000
3. 自動車取得税交付金	4,000	3,600	400
4. 地 方 交 付 税	100,000	88,800	11,200
5. 交通安全対策特別交付金	10	170	△ 160
6. 分担金及負担金	7,176	4,879	2,297
7. 使用料手数料	1,176	914	262
8. 国庫支出金	56,286	50,671	5,609
9. 県支出金	92,401	68,633	23,768
10. 財産収入	7,005	1,565	5,440
11. 寄 付 金	4,550	73,146	△ 68,596
12. 繰 入 金	30,000	20,000	10,000
13. 繰 越 金	6,000	6,000	0
14. 諸 収 入	117,387	15,492	101,895
15. 村 債	135,200	95,300	39,900
計	799,253	651,910	147,343

歳 出

款	本年度 予算額	前年度 予算額	比 較	本年度予算額の財源内容		
				特 定 財 源	一般財源	
				国庫支出金	起 債	その他
1. 議 会 費	12,482	9,894	2,588			12,482
2. 総 務 費	118,359	83,510	34,849	1,607		116,751
3. 民 生 費	149,448	50,522	98,926	43,860	63,500	41,212
4. 衛 生 費	10,234	14,861	△ 4,627	123		9,561
5. 労 働 費	468	36	432			468
6. 農林水産費	68,669	89,759	△21,090	33,991	7,200	24,793
7. 商 工 費	125,433	34,671	90,762	1,000		113,536
8. 土 木 費	77,756	64,892	12,864	31,550	24,300	17,356
9. 消 防 費	9,720	12,318	△ 2,598			9,720
10. 教 育 費	132,835	224,518	△91,683	18,119	36,500	73,760
11. 災害復旧費	23,470	11,789	11,681	18,326	3,700	1,444
12. 公 債 費	61,179	47,503	13,676			61,179
13. 予 備 費	9,200	7,637	1,563			9,200
計	799,253	651,910	147,343	148,341	135,200	388,433

一般会計予算のあらまし
「不況下の物価高」という異様な経済状態の中で、国の総需要抑制策をうけて、昭和五十年の予算編成となりましたが、総額七億九千九百二十五万三千円、前年度に対して一億四千七百三十四万三千円、二十二・六％の伸びとなっております。

予算の内訳については別表のとおりであります。昨年十二月定例会で議決いただいた基本構想をもとに、計画的な社会資本の整備と、きめ細かな福祉政策により、村民の定着を図り、住みよい村づくりを行なうべく予算編成を行ないました。特に本年度の目玉として、朝日地区に保育所、児童館、老人福祉センター、公民館を合体とした総合福祉センターを建設して村民生活のよりどころとし、乳児から老人までの総合的な福祉の増進を進めるものです。

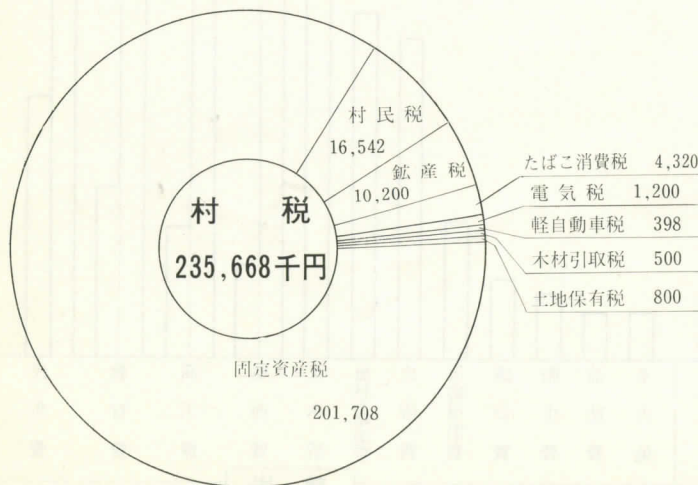
又、減反政策等によって荒廃した田畑を整理して、適正規模の田畑に換え、農家の生活改善を図ると共に、将来の食糧危機に備えるため三年で十九畝の圃場整備を計画し、今年度は後野地区に一千三百四十二万七千円をかけて、二・七畝を計画しております。

その他については別表の主な事業の内訳に示すとおりですが、総需要抑制策により、土木費、農林水産業費等の公共事業は減少しております。

村民の税負担の状況

1世帯当り 580世帯	村税負担額	1人当り 2,045人
28,521	村民税	8,089
347,772	固定資産税	98,635
686	軽自動車税	195
7,448	たばこ消費税	2,113
2,069	電気税	587
17,586	鉦産税	4,988
862	木材引取税	245
1,379	土地保有税	391
406,324	合 計	115,241

村税の状況



主な事業の内訳

Table with 4 columns: 事業名, 金額, 説明, 金額. Rows include 総務費, 民生費, 衛生費, 農林水産業費, 商工費, 土木費, 災害復旧費.

特別会計については、国民健康保険事業ほか四会計で総額八千八百一十一万八千円となっております。

昭和50年度特別会計予算の状況

Table with 4 columns: 会計名, 50年度, 49年度, 比較. Rows include 簡易水道事業特別会計, 国民健康保険事業特別会計, etc.

昭和四十九年度下半期の財政運営については別表のとおりであります。

昭和49年度一般会計予算の状況 (3月末日現在)

歳入

Table with 6 columns: 区分, 当初予算, 補正額, 現計予算, 収入済額, 収入率. Rows include 1. 村税, 2. 地方譲与税, etc.

歳出

Table with 6 columns: 区分, 当初予算, 補正額, 現計予算, 支出済額, 支出率. Rows include 1. 議会費, 2. 総務費, etc.

知事・県議選挙執行さる!!

投票率は八一・六二パーセント

第十八回統一地方選挙の前半戦である、知事および県議会議員選挙は、去る四月十三日全国一斉に執行されました。

本村においても、午前七時から村内五投票所において、四年間の県政に託す投票が行なわれ、投票率では、前回の八四・四五パーセントをやや下廻つたものの、八一・六二パーセントとまず／＼の投票率となりました。

また、開票は午後八時より、朝日小学校講堂において行なわれ、午後九時三十分には、各候補者の得票数が判明しました。

投票の状況

選挙別	区分 男女別	当日の有権者数			投票者		
		男	女	計	男	女	計
知事	男	679	692	1,371	552	567	1,119
	女	679	692	1,371	550	560	1,119
県議	男	127	125	252	81.30	81.94	81.62
	女	129	132	261	81.00	80.92	80.96

候補者別得票数

候補者名	今回(50.4.13)		前回(46.4.11)	
	得票数	%	得票数	%
桑 森 邦 夫	368		292	23.43
藤 堂 作 衛	302		362	29.05
川 田 岩 雄	99		121	9.71
川 崎 泰 彦	321			
高田 新左衛門			100	8.03
山 崎 正 一			371	29.78
得票数総計	1,090		1,246	100

昭和50年事業所統計

調査についてお願い

来る五月十五日を期して、全国いっせいに第十一回目の事業所統計調査が実施されます。

この調査は、我が国における、すべての事業所(個人経営の農林水産業事業所は除く)について、経営組織、事業の種類、従業者数など事業所の事業活動の状態に関する基本的な事項を調査し、我が国の産業構造を明らかにして、国や県、市町村の行政や経済政策に役立てる資料を得るために行われるものです。この調査のため皆様の事業所へ調査員がお伺いしますのでよろしくご協力下さい。

春季清掃検査 五月二十日

村内一斉に実施

日ごとに暖かくなり山々の緑も一段と濃くなって過ごしやす季節となりました。恒例の春季清掃検査を行います。たたみ、寝具類の日光消毒、下水排水等の流れを良くし清潔にするともに嘱託員を通じ近日常に殺虫剤を配付しますから、ハエ、カ等が発生しそうな場所に撒いて下さい。

老人健康診査実施

成人病には脳卒中、ガン、心臓病、これと関係の深い高血圧症などがあり、これらは人生三十五才からの落とし穴場となっています。脳卒中や心臓病は、高血圧や動脈硬化が長く続いたのち、終着点のかたちで出てくるものです。脳卒中、心臓病の予防には血圧検査を受けることが大切です。

本村では、こうした成人病を早期に発見し、早期治療を受けることで健康を維持し明かるとい家庭を造っていただく目的で、大野保健所の協力を得て左記日程により、老人健康診査を実施します。この機会に一人でも多くの方が検診を受けられるようぞみます。へ老人健康診査の日時及び場所(午前九時～午前十一時五分)

五月二十九日 大納地区体育館
(午後一時～午後四時)

五月三十日 後野道場
(午前九時～午前十一時)

五月三十日 和泉村診療所
(午後一時～午後四時)

農作業メモ

いよいよ田植時期に入り、病害虫の本格的発生時期に入るが、五、六月の気象予報では、曇雨天の日が多く見込まれているが、そのほかは、かなり晴れる日があり、発生初期条件としては好ましくない。田植時期の調整による発生抑制および初期防除等について、特に注意して下さい。

【もながれ病】

早植え、密植、機械植、窒素多用によく発生しやすい。

●防除 ● パリダシン粉剤を十アール当り三キログラム散布するとともに、稲の下部に附着するよう注意する。

【はいもち病】

窒素肥料を多く使用したり、多湿の場合に多く発生するので、早期発見(株間をわけて下等を調べ)につとめ、初期に徹底防除することが肝要である。

●防除 ● ラブサイド粉剤を十アール当り三キログラム散布する。また激発の場合は散布回数を増加し、雨のやみ間等を見て防除する

老人クラブ総会開かれる

和泉村老人クラブ連合会では、去る四月三十日午前九時から朝日道場において、第十七回の総会が開かれました。

この日、村内のお年寄たち九十余名が集まり、お互いに健康を喜び合う光景が見られた。まず総会は谷口連合会長のあいさつに続き昭和四十九年度収支決算並びに事業報告、昭和五十年年度収支予算及び事業計画が決議された後、村長議長をはじめ、高志福祉事務所長等来賓の祝辞があり閉会しました。午後は、宝蔵寺(莊川村)住職の山本憲昭師による「老人の生きよるこび」と題しての法話が、約一時間半にわたってありましたがこれに引き続き、桜田朝日巡查部長の指導により信号機のある横断歩道のわたりかたなど、老人の交通安全教室が開かれ意義ある一日を終えました。



村の文化財を訪ねて

小谷堂縄文遺跡から

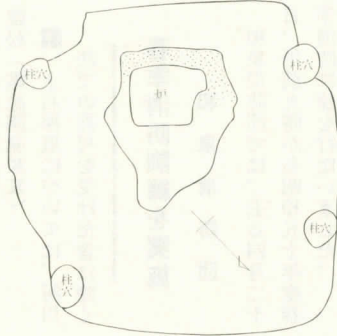
和泉村文化財調査委員会が、これまで指定した文化財は、小谷堂・角野前坂縄文遺跡を始め、同遺跡から出土された「深鉢」や「小児カメ棺」など五点があり、今後指定を考慮して現在調査中のものとして、大垂の滝、民俗館（建造物）を始め、上大納道場の仏画和佐谷越戸の池、下山地区の元服などがあります。

そこで、こうした私たち郷土の貴重な文化財をみなさんによく知ってもらうため、本紙をもって順次紹介したいと思います。今回は小谷堂遺跡を紹介いたします。

この小谷堂縄文遺跡（住居跡）は、昭和四十一年福井県考古学研究会に発掘調査を依頼し、福井大学助教大西青二氏と若狭高校教諭森川昌和氏等が実査し、昭和四十七年に村の文化財（史跡）に指定されたもので、石徹白川右岸に広がった河岸段丘の三段目にあり標高は約六〇〇米のなだらかな丘に開けて、水の便も良く、日当りの良い南向きの所に立地しています。ここに四千五百年前の縄文人が生活しており、住居跡は隅丸方形の形態をなし、方形の角の部分丸くなっている。

当時の住居は、地表を掘って土

間を作り生活していたもので、小谷堂の場合も地表面を三十〜四十センチ掘り込んで、垂直に近い壁で、粘土を敷きつめて、踏み固めた土間を作っている。また、土間



には草の繊維で作った敷物をしきつめ、寝泊りしていたものと思われる。床面から更に三十センチ余り掘り込んで、直径二十五センチぐらいの柱の穴が四つ作ってある。さらに住居跡の北寄りに炉、いわゆる「イロリ」が切りこまれ暖をとっていた。元来この炉は、四方が石囲いであったものと考えられるが、石は残っておらず、この部分の土が赤く焼けている。

ところで、この住居の上部構造

は勿論腐って残ってはいないが、柱穴の配置、平面などから考えて四本柱の切り妻造りで、屋根は草ぶきであったろうと推定される。

この住居跡は、全国的にみて非常に小さいものであり、三米四方で約六帖の広さのため、大体三人ぐらい住んでいたと考えられる。当時、縄文人は集落といって、「ムラを」作って生活していたので、この時期だと七〜八軒の集落が普通なので、まだ六〜七軒の住居跡が小谷堂に眠っているのではないかと考えられる。

ローカル色豊かな成人学級

わら細工（民芸品）を学ぶ

後野地区成人学級
冬期間における成人学級等は、村内各地において年々その内容も豊富で盛んになってきており、大きな成果を上げております。

後野地区成人学級では、昨年から同地区の米倉与太郎、古島金松の両氏の指導のもとに、わら細工（民芸品）を取り入れて、「ぞうり」や「わらじ」「ふかぐつ」づ

家庭目標
野山に出かけ
美しい自然に親しもう



くりに通んでいます。これは、今日の日本経済と科学技術の急速な進歩により、我々祖先の生活の知恵から生まれたわら細工も、遠く忘れさられようとしています。こうした古きよさを知り、後世に残すとともに、新しい観光みやげ品としての生産も可能であり一石二鳥の成果が期待されています。

氷んさい No.85 **オヤジ**
いずみ山崎の
10日発行
緑が育てる豊かな生活の上
は古井の人間生活の上
緑を大切に
大物
三三
二杯
二杯
やい

行政相談委員が 変わりました

このたび和泉村行政相談委員として二年間ご活躍された稲郷貞一氏が本年三月三十一日をもって任期満了となりましたので、四月一日からは、新たに古川将氏（朝日）が行政相談委員として活動されることとなりました。行政相談委員は、民間の有識者の中から、行政管理庁長官が委嘱しているもので、全国の市町村に原則として一人ずつ置かれています。委員は自宅で相談を受けるほか、公民館などで定期的に相談所を開いたり巡回して相談を受けたりしていますので御利用ください。役所に対する苦情、相談や意見がある方、又はどこに申し出たらよいか、わからないという方はお気軽に行政相談委員にお申出ください。

- ▼ どうしてよいか、わからない事
 - ▼ 不親切なめにあった事
 - ▼ どうにかして、もらいたい事
 - ▼ こうすれば、よいと思う事
- など、役所の仕事に関することなら何でも結構です。ただし、政治問題、民事、刑事問題は取扱いかねます。相談委員の所へ直接行ってよいし、電話で申出てもよいし、又は相談委員に来てくれといつてもよいのです。苦情のある方は、あきらめずにどしどし申出て明るい生活をしましょう。古川将宅は電話九十番です。

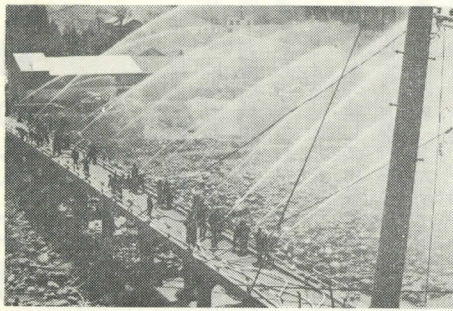
自然環境の保護を!!

監視員四人を委嘱する

自然環境の破壊が大きな社会問題になっておりますが、本村においては、こうした自然環境の保存と保育を図るため、自然風物保護に関する条例を先の三月定例議会において、一部改正しその強化をはかることになりました。

主な改正内容は、村長が教育目的その他公益上の事由により、特に必要と認めて許可した場合を除き、何人も指定保護物件(石南花岩つつじ、土及び石並びに砂)を採取してはならない。また、こうした規定に違反した者は、十万円以下の罰金に処せられ、その採取した物件を没収されます。

なお、これらの監視体制を強化



するため、自然環境破壊保全、土石採取監視員設置規則を設け、植物や石類の採取など美観を損なうような行為を監視することになっていきます。その監視員には、次の方々が委嘱されました。

- 道岸福男(朝日) 平瀬利夫(角野前坂) 田中正(上大納) 野々村錠松(電源開発KK)

土石採取については、河川法での許可を受けた者は除く

春季消防訓練を実施

和泉消防団

和泉消防団では、去る四月二十日、午前九時から昭和五十年年度春季消防訓練を行いました。

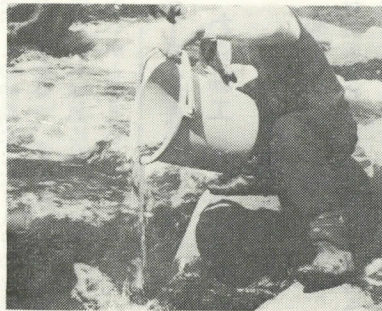
この日は近年にない好天に恵まれ、来賓多数を迎え模範操作法、放水訓練、分列行進、表彰式等が行なわれました。

表彰式では、三月四日和泉消防団が消防庁長官より竿頭綬を受賞したのを記念して、村長より各分団へ記念竿頭綬が授与されたのを始め、各分団へ無火災に対する感謝状、また昨年退団された前団長辻善久氏へ感謝状が贈られ、団長からは、昨年福井県消防操法大会に出場し、見事優勝を果した要員六人に功労章が贈られました。

自動車税の納期限は

5月31日です!!

納期限までにもよりの金融機関か郵便局へ納めましょう。また身体障害者等の減免申請は、大野県税事務所ですぐに手続きを済ませましょう。



石徹白川など主な河川へ

アマゴの稚魚十二万尾を放流

奥越漁業協同組合では、五月一日、本村から委託を受けているアマゴの放流を行いました。

この日、アマゴの稚魚一〇〇、〇〇〇尾を石徹白川、大納川を始め知奈洞谷川、前坂谷川など主な河川へ放流しました。

大納地区村民体育館

使用状況について

昨年十二月一日をもって開館いたしました村民体育館の使用状況は、次のとおりですが、中でもおもな使用団体は、児童、生徒のクラブ活動による使用が半数以上をしめております。一般住民の皆さんも余暇を利用して、おおいにご利用ください。

なお、昨年十二月から本年三月末日までにおける大納地区村民体育館の使用状況は次のとおりです

- ◎使用日数 八十三日間で月平均約二十日となっています。
- ◎使用団体数 一九〇団体で月平均四十七、五団体となっています。
- ◎使用者数 三、二六九人で月平均八一七人の使用がございました。

また、一日平均で見ると、二三団体で十五、九人となっています。

▼人のうごき▼

【赤ちゃん誕生】

- 上大納 島田真希 芳文 長女
- 上大納 原由美子 健次 長女
- 朝日 尾崎明人 幹夫 長男

【死七】

- 角野 西善之助 七四才
- 朝日 富田喜太松 九〇才

凧上げ。鯉のぼりにご注意

北陸電力からのお知らせ

凧上げと鯉のぼりのシーズンになりましたが、凧上げについては、このほど福井市で子供さんが電柱に引掛った凧を取りにあまり感電墜落した事故がおきております。電柱や電線の近くで凧上げはしないよう充分注意して下さい。また鯉のぼりについては、最近竹竿でなくアルミ竿をお使いになる方がふえています。ところが、立てるときちょっとした不注意から竿が電線にふれて感電死傷されるといったましい事故もおきていますので立てる時には充分注意し、万一倒れても電線にふれない安全な場所を選びましょう。また、ひもが切れて鯉のぼりが電線にひっかかって停電したり、ひっかかった鯉のぼりを取るため電柱に昇ってついでに落下するといった事故も起きています。風の強い日は特に注意しましょう。万一電線や電柱にひっかかった場合は、絶対に電柱にのぼらず北陸電力大野営業所へお知らせ下さい。

